

香宗川上流部になる人口約300人の香我美町東川地区。8月5日、初めて行われた「東川地区夏まつり」を運営した東川地区まちづくり協議会を紹介しします。

山里に元気がこだま

東川地区まちづくり協議会

場で行われました。過疎化が進み小中学生は4人だけなので参加は高齢者が多く、勝敗より親睦を基本にお手玉や投げ輪で楽しくできるように工夫されていました。

嫁も、外孫も

夕方になり、祭りも本番地区外で暮らす東川出身の家族が続々と集まり、たくさん子どもたちが金魚すくいに熱中していました。

「よーせんじゃなくてできることをしていきたい。祭りの時だけでも帰ってきて欲しい」と実行委員長の水田悦雄さん。

ひと肌ぬいで

この祭りの食事を用意したのは東川女性防火クラブの14人。代表の別役



箱釣りの水に己の顔ゆがむ
夏井いつき
(続絶滅寸前季語辞典より)



協議会は香我美町納涼祭の取りやめに伴い、地区の行事を充実させようと、恒例の運動会と合わせて夏まつりを行うことにしました。地区内外から約100人が集まり、静かな山里がにぎわいました。

小学2人中学2人

運動会は東川小中学校跡にある公民館多目的広

雅世さんは、初めての祭りなので7月から何回も集まって準備をした。多くの人が来てくれたのでひと肌もふた肌も脱いだかいがあった」と流れる汗をふきながら話してくれました。

和気あいあい

東川地区は中心だった千舞温泉が3年前に休業になりましたが、まちづ



くり協議会は地区が寂れないように頑張っています。2年前に公民館の周りに植えたブルーベリーも来年は本格的に収穫できるでしょう。また、それを使ったアイスクリームもつくられることになっています。

会長の山崎剛正さんは「今日は10家族以上が帰ってきちゅう。みんなあ大きくなった。今日ばかりは子どもたちの声が山に響きゆうねえ」と目を細めていました。

すべてが手作りの東川地区夏まつり。協議会の込めたその気持ちを参加者はしっかりと心と舌で受け止めたことでしょう。

編集後記

突然の雷雨にも即座に流れた頼もしい誘導アナウンス。雨上がりの風が雲を流し、スタツフ皆さんの想いを夜空にくっきり見せた四千発の花火！初めての「みなこい港まつり」に拍手です。(井)

香南市手結盆踊り。花火の時間が今年から21時からとなってプログラムも新たに。いつも心配される事故もなく無事終了。関わった多くのスタツフの皆さんお疲れ様でした。(m)

東川地区夏まつりでは、先行してジェラードの露店がたちました。私はコップの下に曹達水、その上に薄紫のさつぱりしたアイスクリームの乗ったブルーベリーフロートを食べました。(N)

おわびと訂正

《8月号》特集「いきいきすこやか香南市」の3ページ「18年度の保険給付金は昨年比に比べ12.5%、4億1900万円の増加」の間違いでした。おわびして訂正いたします。

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.tg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.tg.jp